



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月12日

上場会社名 S Dエンターテインメント株式会社 上場取引所 東
コード番号 4650 URL https://sdentertainment.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 誠
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 谷口 正論 TEL 011-860-2525
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	3,670	23.7	△95	—	△119	—	18	262.2
2025年3月期第3四半期	2,968	8.9	73	87.9	44	497.6	5	—

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 22百万円 (627.8%) 2025年3月期第3四半期 3百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	2.09	—
2025年3月期第3四半期	0.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	4,354	1,607	36.9	179.54
2025年3月期	4,207	1,584	37.7	177.00

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 1,607百万円 2025年3月期 1,584百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	19.0	80	△18.5	40	△34.0	210	123.8	23.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年3月期3Q	8,997,000株	2025年3月期	8,997,000株
2026年3月期3Q	42,989株	2025年3月期	42,989株
2026年3月期3Q	8,954,011株	2025年3月期3Q	8,954,012株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、物価上昇率の鈍化に伴う個人消費の下支えなどから、総じて緩やかな回復基調を維持しました。一方で、米国の関税政策の影響による輸出の減少や企業収益の悪化、慢性的な労働力不足などの課題が続いており、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、成長分野への投資および従業員教育の強化を進め、持続的成長に向けた事業基盤の拡大に取り組んでおります。

ウェルネス事業では、前期に開設した就労支援B型事業所およびピラティススタジオにおいて、利用者数および利用率が堅調に推移いたしました。また、保育で今期より導入した「イングリッシュタイム」は利用者から高い評価を得ており、カメラキッズを皮切りに当社グループが運営する他の保育園へも順次展開しております。これらの取り組みにより、サービス品質の向上に加え、グループ全体の売上拡大に寄与いたしました。

また、CSR活動として、当社グループの保育士が考案した園児置き去り防止カメラ「カメラくん」を複数の自治体へ寄附するなど、社会課題の解決に向けた貢献にも取り組んでおります。

その一方で、持続的成長に向けた投資（新規出店の立上げ、採用・研修等の人材育成費）により販売費及び一般管理費が増加したことから、営業損失を計上しました。これらは将来の収益拡大に向けた施策であり、短期的には費用が先行しております。

なお、従業員教育の強化にあたり人材開発支援助成金を活用し、特別利益として補助金収入を計上しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は36億70百万円（前年同四半期比23.7%増）、売上総利益は33億13百万円（前年同四半期比18.0%増）、営業損失は95百万円（前年同四半期は営業利益73百万円）、経常損失は1億19百万円（前年同四半期は経常利益44百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は18百万円（前年同四半期比262.2%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間における売上高をセグメント別に示すと次のとおりであります。

<事業部門売上高>

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)	前年同四半期比 (%)
ウェルネス事業 (千円)	3,061,403	116.7
(フィットネス)	652,613	99.4
(保育・介護等)	2,408,789	122.4
クリエイション事業 (千円)	41,694	77.5
不動産賃貸事業 (千円)	126,140	100.9
その他 (千円)	441,165	267.0
合計 (千円)	3,670,404	123.7

(注) 1. ウェルネス事業は、フィットネス部門、保育部門、介護部門等の売上高であります。

2. クリエーション事業は、オンラインクレーンゲーム部門の売上高であります。

3. 不動産賃貸事業は、不動産賃貸部門の売上高であります。

4. その他は、コールセンター部門、カウネット代理店部門等の売上高であります。

(ウェルネス事業)

フィットネスでは、「スターピラティス」を主軸とした集客施策を推進するとともに、スターピラティスにおいて初心者向けにプレコリオ（標準化）プログラムによる安定したレッスン品質を提供した結果、既存店舗は堅調に推移いたしました。なお、前年同期に閉店店舗分の売上高が含まれていた影響により、フィットネスの売上高は前年同期比99.4%となりました。

保育では、イングリッシュタイムの導入により園児の安定的な確保につながったことから、園児充足率は引き続き高水準で推移いたしました。介護等では、前年度および今期9月までに開所した就労支援B型事業所「リバイブ」において利用者数が増加し、稼働率は堅調に推移いたしました。これにより、保育・介護等の売上高は前年同期比122.4%となりました。

以上の結果、ウェルネス事業セグメント全体の売上高は30億61百万円（前年同期比116.7%）となりました。

(クリエイション事業)

オンラインクレーンゲームでは、定期的なイベントの開催や話題性のある景品投入等の施策を継続してまいりましたが、国内ユーザーの利用が停滞していたことを踏まえ、海外向けサービスを展開いたしました。その結果、海外におけるユーザー数は徐々に増加し、売上に持ち直しの兆しが見られたものの、売上高は41百万円（前年同期比77.5%）となりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸では、テナント獲得に向けたリーシング活動を継続するとともに、特定の物件において催事出店が継続したことから、売上高は1億26百万円（前年同期比100.9%）となりました。

(その他)

報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に当社子会社が運営するコールセンター事業やカウネット代理店事業などとなり、売上高は4億41百万円（前年同期比267.0%）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、14億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ91百万円増加しました。これは主に現金及び預金が2億66百万円、売掛金が20百万円増加し、仮払金が2億4百万円、商品が45百万円減少したことによるものであります。固定資産は28億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ55百万円増加しました。これは主に有形固定資産が48百万円、差入保証金が16百万円増加し、繰延税金資産が11百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、43億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億47百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は19億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ29百万円減少しました。これは主に短期借入金が60百万円増加し、1年内償還予定の社債が11百万円、1年内返済予定の長期借入金が56百万円、未払法人税等が41百万円減少したことによるものであります。固定負債は7億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億53百万円増加しました。これは主に長期借入金が83百万円、資産除去債務が50百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は27億46百万円となり前連結会計年度末に比べ1億24百万円増加しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は16億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ22百万円増加しました。これは主に親会社に帰属する四半期純利益を18百万円計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は36.9%（前連結会計年度末は37.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月15日付「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表した連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	486,637	753,637
売掛金	305,430	325,935
商品	110,475	65,286
貯蔵品	10,001	11,856
未収還付法人税等	—	15,601
その他	451,823	283,654
貸倒引当金	△1,184	△1,163
流動資産合計	1,363,184	1,454,808
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,187,609	1,225,660
土地	1,117,148	1,117,148
その他(純額)	100,090	110,762
有形固定資産合計	2,404,848	2,453,572
無形固定資産		
のれん	87,095	78,650
その他	15,157	11,441
無形固定資産合計	102,252	90,091
投資その他の資産		
差入保証金	277,887	294,393
繰延税金資産	13,186	1,670
その他	45,758	59,791
投資その他の資産合計	336,832	355,855
固定資産合計	2,843,932	2,899,519
繰延資産	186	—
資産合計	4,207,304	4,354,327
負債の部		
流動負債		
買掛金	125,858	94,110
短期借入金	1,200,000	1,260,000
1年内償還予定の社債	11,200	—
1年内返済予定の長期借入金	190,298	133,700
未払法人税等	46,602	4,778
賞与引当金	49,037	24,823
株主優待引当金	17,000	17,000
その他	363,670	439,694
流動負債合計	2,003,667	1,974,106
固定負債		
長期借入金	467,075	550,232
繰延税金負債	13,003	26,925
資産除去債務	91,521	141,667
その他	47,179	53,761
固定負債合計	618,779	772,587
負債合計	2,622,447	2,746,694

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	808,245	808,245
利益剰余金	674,382	693,120
自己株式	△9,684	△9,684
株主資本合計	1,572,944	1,591,682
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,913	15,951
その他の包括利益累計額合計	11,913	15,951
純資産合計	1,584,857	1,607,633
負債純資産合計	4,207,304	4,354,327

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	2,968,014	3,670,404
売上原価	159,580	356,857
売上総利益	2,808,433	3,313,547
販売費及び一般管理費		
給料	1,135,216	1,292,431
賞与引当金繰入額	21,368	24,823
退職給付費用	6,674	6,997
株主優待引当金繰入額	19,722	18,891
地代家賃	343,891	395,282
その他	1,208,441	1,671,004
販売費及び一般管理費合計	2,735,314	3,409,431
営業利益又は営業損失(△)	73,119	△95,884
営業外収益		
受取利息	117	423
受取配当金	15	15
受取保険金	737	2,914
受取返戻金	483	511
その他	770	992
営業外収益合計	2,124	4,856
営業外費用		
支払利息	27,708	26,980
その他	2,593	1,371
営業外費用合計	30,302	28,352
経常利益又は経常損失(△)	44,941	△119,380
特別利益		
投資有価証券売却益	—	22
補助金収入	16,689	187,401
債務免除益	19,882	—
特別利益合計	36,571	187,424
特別損失		
固定資産売却損	254	—
固定資産除却損	2,048	736
固定資産圧縮損	10,366	—
店舗閉鎖損失	18,691	—
特別損失合計	31,360	736
税金等調整前四半期純利益	50,152	67,307
法人税、住民税及び事業税	40,132	25,248
法人税等調整額	4,846	23,321
法人税等合計	44,979	48,569
四半期純利益	5,173	18,738
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,173	18,738

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	5,173	18,738
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,043	4,038
その他の包括利益合計	△2,043	4,038
四半期包括利益	3,129	22,776
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,129	22,776
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	143,420千円	162,118千円
のれんの償却額	9,141千円	8,444千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	ウェルネス 事業	クリエイシ ョン事業	不動産賃貸 事業	計				
売上高								
外部顧客へ の売上高	2,623,971	53,796	124,985	2,802,753	165,261	2,968,014	-	2,968,014
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	-	-	-	-	188,708	188,708	△188,708	-
計	2,623,971	53,796	124,985	2,802,753	353,969	3,156,722	△188,708	2,968,014
セグメント 利益	37,387	2,732	82,620	122,740	167,804	290,545	△217,425	73,119

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「カウネット事業」「コールセンター事業」等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△217,425千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2025年4月1日至2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	ウェルネス 事業	クリエイシ ョン事業	不動産賃貸 事業	計				
売上高								
外部顧客へ の売上高	3,061,403	41,694	126,140	3,229,238	441,165	3,670,404	-	3,670,404
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	30,602	-	-	30,602	191,963	222,565	△222,565	-
計	3,092,006	41,694	126,140	3,259,841	633,129	3,892,970	△222,565	3,670,404
セグメント 利益又は損 失(△)	52,181	1,744	83,778	137,704	56,083	193,788	△289,672	△95,884

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「カウネット事業」「コールセンター事業」等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△289,672千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。